

全線開通後に運行を始めた高速バスにより交流促進

- 東日本大震災の影響等で、福島県浜通り地方から東京への高速バス・常磐線が運休・廃止される中、常磐道の全線開通による時間短縮等の効果により、東京直通の高速バス(相馬・南相馬～東京間)が平成27年4月1日より運行開始
- 平成27年4月、5月で約2,800人の方々が利用し地域間交流を促進



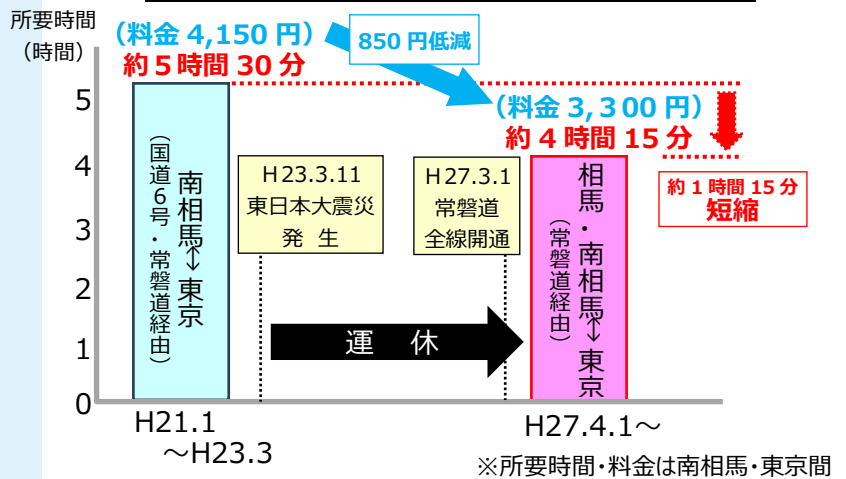
相馬・南相馬～東京間
高速バス利用状況

【総乗車人数 約 2,800 人】
 ・4月:約 1,150 人
 ・5月:約 1,660 人

H27. 4. 1常磐道経由の
相馬・南相馬～東京間の
高速バス直行便が新設

- 【H27.4.1 運行開始した相馬・東京間の高速バス概要】
- 1.運行開始:平成27年4月1日
 - 2.運行区間:相馬・南相馬～東京
 - 3.運行便数:1日1往復(所要時間:約5時間)
 - 4.上り:相馬8時発、下り:東京17時発
 - 5.料 金:3,800円(平日・片道)

▼福島県浜通り地域の高速バスの運行経緯



■バス事業者の声

- 福島沿岸から首都圏への直行の公共交通が震災で途絶する中、当初東北道ルート経由の相馬から東京への高速バスの運行を計画していた。**常磐道の全線開通が早まったことで、常磐道ルートでの運行を決め、約 2 時間の時間短縮となった。**
- 利用者は地域の中高年の方が多く、週末に関東方面で暮らしているお子さんや家族に会いに行くケースが多いと思われる。
- 南相馬市役所に寄せられた意見にも、「新幹線ではお金と時間が掛かり月 1 回しか会いに行けなかったが、**直通バスの開通によって、月に 2～3 回会いに行くことが可能になる**」との意見があった。

